

政務活動報告書

議員名 宮川拓也

実施した政務活動の内容	☒ 研修 ☐ 視察・調査 ☐ 陳情・要望	
実施日	令和 6 年 6 月 24 日 (月) 午後 1 時～ 令和 年 月 日 () 午前・午後 時～	
場所	埼玉県川越市	
主催区分	☒ 個人 ☐ 会派 ☐ その他 ()	
同行者名	無し	
行程及び経費	行程 (交通機関、算定根拠、人数按分など)	経費 (単位: 円)
	大曲駅—上野駅 新幹線代	31,920
		経費合計 31,920
実施概要と所感	別紙の通り	

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。

※政党が主催する活動や研修セミナー、陳情は政務活動対象外となります。

※実施した内容がわかる資料、領収書、要望書等を添付してください。

※自家用車使用のガソリン換算方法を統一するため、同一箇所の往復の場合は、片道距離から換算した額×2 (往復) でご記入ください。 距離につきましては、実測いただくか距離検索サイトでお調べください

地方再生モデル都市の視察

視察概要と埼玉県川越市の取り組み

地方再生モデル都市は、内閣府や総務省などの関係省庁が連携し、地方創生のための先進的な取り組みを行う都市を選定し支援をする政策。地域の人口減少に歯止めをかけることや、観光、農業、地場産業などの地域資源の活用、地域経済の活性化などを目的としている。今回は、そのモデル都市の一つである埼玉県川越市において、地域資源を活かしたまちづくりの取り組みについて視察を行った。川越市では、人口減少や経済縮小といった課題に対応するため、「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「社会資本総合整備計画」、「企業版ふるさと納税の活用」、「デジタル田園都市国家構想交付金の活用」など、さまざまな手法を用いた施策を展開している。今回はその中でも、川越駅、本川越駅、川越市駅の中心三駅を核としたにぎわいの維持と、川越の歴史・文化を生かした新たな価値創造を目的とした都市再生の取り組みについて視察を行った。

川越駅周辺の再整備

公共交通ネットワークの維持、向上による利便性の強化や、市街地の人口密度と都市機能の維持を通じた持続可能な都市の形成の一環として、川越駅の改修事業が進められていた。川越駅東口の駅前広場では、バリアフリー対応として車いすやベビーカーが通行しやすいようスロープの幅や勾配の改良がなされており、また、天候に左右されずに移動できるようペDESTリアンデッキ上には光を通す膜屋根が設置されている。

一方、西口では市有地を活用した複合施設整備が行われており、行政機関や宿泊施設、飲食店などが入居し、新たなにぎわいが創出されていた。以前地方庁舎のあった場所は広場整備が進められており、市民の憩いの場やイベントスペースとしての活用が期待されている。駅の東西における整備事業を通じて、交通結節点としての利便性向上やバリアフリーの推進が図られており、市民にとって快適な都市空間の創出に向けた明確なビジョンが感じられた。

子育て支援施設

安心して子育てができる環境をつくり、すべての子育て世帯を支援するための施設として2021年に整備された「すくすくかわごえ」では、保育ステーションから子育て支援センター、地域包括支援センターまで兼ね備え、子育て世代だけでなく、高齢者やそのご家族の方から、医療や介護等に関するさまざまな相談を受け付けており、幅広い世代の方が利用できる施設となっている。本川越駅の目の前に立地し、利便性の高い施設であると感じた。

歴史的建造物を活用した文化創造インキュベーション施設

市指定文化財である旧川越織物市場および旧栄養食配給所の建物を改修し、新たに文化創造インキュベーション施設として整備された「コエトコ」では、カフェやオフィス、作業スペースなどが備えられており、多様な分野のクリエイターが入居していた。創業支援や新たなビジネスの創出を後押しする場として活用されており、単なる文化財の保護にとどまらず、地域経済の新たな担い手を育てる拠点として非常に価値ある取り組みであると感じた。歴史的建築物の持つ重みを活かしながら、現代の多様なニーズに対応する空間へと再構築している点は、他の自治体にとっても参考となると感じた。

総括

川越市は歴史や文化といった地域資源を活かしつつ、利便性や持続可能性を兼ね備えた都市整備を進めており、非常に学びの多い視察となった。駅周辺の都市機能強化から多様な働き方を支える創造的拠点整備まで、官民が連携した街の魅力向上に向けた取り組みが随所に感じられた。川越市の取り組みを参考にしつつ、地方再生に向けた取り組みは地域の特色を出しながら特性や課題に即したまちづくりを進めていく必要があると感じた。



改修された川越駅東口駅前広場



川越駅西口のペデストリアンデッキ



市有地利活用による複合施設



子育て安心施設「すくすくかわごえ」



インキュベーション施設「コエトコ」



インキュベーション施設「コエトコ」

政務活動報告書

議員名 宮川拓也

実施した政務活動の内容	☒ 研修 ☐ 視察・調査 ☐ 陳情・要望	
実施日	令和 6 年 9 月 16 日（月）午前 11 時～ 令和 年 月 日（ ）午前・午後 時～	
場所	東京都調布市、三鷹市	
主催区分	☒ 個人 ☐ 会派 ☐ その他（ ）	
同行者名	無し	
行程及び経費	行程（交通機関、算定根拠、人数按分など）	経費 （単位：円）
	大曲駅—東京駅 新幹線代	33,140
		経費合計 33,140
実施概要と所感	別紙の通り	

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。

※政党が主催する活動や研修セミナー、陳情は政務活動対象外となります。

※実施した内容がわかる資料、領収書、要望書等を添付してください。

※自家用車使用のガソリン換算方法を統一するため、同一箇所の往復の場合は、片道距離から換算した額×2（往復）でご記入ください。 距離につきましては、実測いただくか距離検索サイトでお調べください

三鷹市公会堂

建設予定の新横手市民会館との比較参考を目的に、東京都三鷹市にある三鷹市公会堂の視察を行った。三鷹市公会堂は地域の文化活動や市民交流の中心として位置づけられており、地元の需要に応じた施設づくりや運営が行われている施設である。

施設の特徴としては、演劇や音楽コンサート、講演会など幅広いイベントに対応できる多目的設計となっている。座席数は最大719席と、市の規模やイベントの需要を考慮して適切なサイズが確保されている。ステージはプロセニウム形式で、拡張することでオーケストラピットとしても使用することが可能となっている。

三鷹市公会堂では地域住民に向けた文化イベントやワークショップの開催に力を入れており、市民が積極的に利用できるような工夫がなされている。地域の芸術団体との連携による作品展示会や発表会など、市民が多く利用できるような運営体制が取られており、気軽に訪れ文化活動に触れる機会を増やすための運営方針は横手市にとっても参考になると感じた。三鷹市公会堂の多目的で使いやすい設計や地域に根ざした運営方針など、多くの点で学びがあった。建設予定の新横手市民会館よりもコンパクトな施設ではあるが、地域の利用者ニーズに応えるためには十分なサイズ感であると感じた。施設運営についても利用される団体と連携をとりながら、市民が文化に触れ、交流できるような運営が望まれる。新横手市民会館が将来にわたって市民に愛される施設となるよう、今後も設計も含めてしっかりと協議をしていきたい。



鬼太郎ひろば

「ゲゲゲの鬼太郎」などで知られる水木しげるさんが長年に渡って居住し、名誉市民でもあったことから、調布市ではゲゲゲの鬼太郎のキャラクターを用いて「鬼太郎ひろば」という市民の交流の場が整備されている。この事業については、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングによって整備したことから、当市でも地域活性化事業の参考にと、同様の資金調達手法の活用可能性を目的に視察を行った。

調布市では、ゲゲゲの鬼太郎のキャラクターや作品を象徴とするデザインを広場に取り入れることで、市民や観光客が訪れる交流の場を創出している。視察を通じ、キャラクターの活用が地域の特色を強調し、他地域との差別化を図る効果があることが確認できた。特に、広場が住民や観光客の憩いの場として機能する一方で、調布市への愛着を促進し、市民の結束を高める役割を果たしていると感じた。こうしたキャラクターによる地域資源の発掘は、他自治体でも地域性に合わせたキャラクターや文化資源を生かし、観光・交流拠点の形成を図るための一助となると感じた。

調布市が広場整備資金の一部としてふるさと納税制度を活用し、クラウドファンディングを実施したことは、地元の住民や関心を持つ全国のファンから支援を得るうえで大きな成功を収めている。これにより、資金面だけでなく、調布市のプロジェクトへの共感を広げる効果も得られたと考える。当市でも、まんがの街としてのまんが資源を反映した返礼品やプロジェクトを用いることで、地域支援の意識を全国に広げる可能性があると感じた。

今回の視察を通じ、地域の歴史や文化に根差した取り組みは、地域活性化だけでなく、市民の誇りや愛着を形成するためにも重要であると感じた。一方で、キャラクター活用やふるさと納税を利用するプロジェクトは、継続性の確保や多様な支援者層の維持が課題であると感じた。また、作品の著作権に制限があることから、どこまで同様の事業が行えるかの課題も見えた。当市ではまんが美術館をはじめとする世界に発信できるコンテンツを保有している強みがある。こうした地域資源を生かした交流拠点の整備をすること、外部へ魅力を発信し影響力を持つことができることを再認識した。今回学んだクラウドファンディングの事例も参考にして支援者の輪を広げ、関係人口を増やしていくことは地域活性化の有効な手段となり得ると思った。

